

(患者様配布用)

カフ型カテーテルの 日常管理について



もくじ

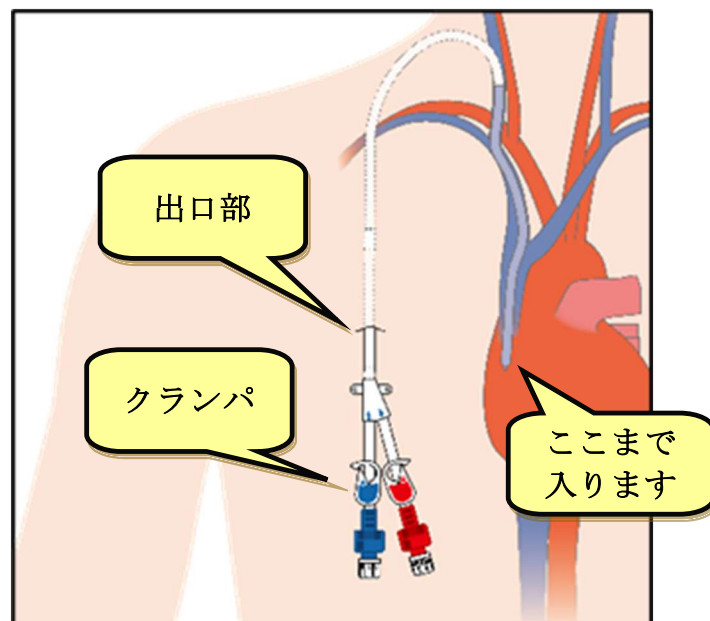
- ✓ カフ型カテーテルについて 3
- ✓ カフ型カテーテルの注意点 4
- ✓ 定期受診について 4
- ✓ 日常管理について 5
- ✓ 出口部の観察について 5
- ✓ 出口部の消毒について 5
- ✓ 消毒に必要な物品と消毒方法 6
- ✓ 入浴時の防水処理について 8
- ✓ カテーテルのトラブルについて 9
- ✓ 有事の対応について 10



カフ型カテーテルについて

カフ型カテーテルは主に胸のあたりから挿入され、皮下を通り首元から血管内へと入り心臓内へ先端が留置されます。体からカテーテルが出ている部分を出口部といいます。

透析を行うには、たくさんの血液を体の外に取り出すことが必要ですが、カテーテルより血液の脱血



(体から血液を取り出すこと)および送血(体へ血液を戻すこと)ができるので、透析を行う際の穿刺(針刺し)や透析後の止血操作がなくなります。また、透析中に両手を使用することができます。一度入れたカテーテルは長期的に使用でき、当院では最長9年使用された方がいらっしゃいます。

カテーテルにより心臓から直接血液を取り出すため、心臓への負担も小さくなります。

カフ型カテーテルは以下のような場合に使用されます。

シャント(動脈と静脈をつなぐ)手術が難しい
血管に針を刺すのが難しい
心臓の機能が低下している
シャントの作製から使用までに時間が掛かる

カフ型カテーテルの注意点

- カテーテルは身体にとって異物なので、細菌感染を起こさないように管理する必要があります。
- 常にカテーテルが入っているため、日常生活に多少の制限があります。
 - ①透析がない日や出口部が濡れた時など、自宅にてカテーテル出口部の消毒が必要です。
 - ②入浴は出口部感染の原因にもなるため、防水処理をしての入浴となりますが、防水処理が不完全であった場合も考慮し腰湯またはシャワー浴のみとしています。
- カテーテルは引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。また、日常生活でのカテーテルが引っかかったり折れ曲がったりしないように注意してください。
- カテーテルを取り扱う時は、鋭利な物（ハサミやカッター等）を使用しないでください（カテーテルを傷付けたり、切断したりしてしまう恐れがあります）。

定期受診について

透析の際に医療スタッフがカテーテルの観察を行います。可能であれば半年に1度、専門医による診察をお勧めします。



日常管理について

カテーテルの出口部は身体の中とつながっているため、清潔を保つため出口部の観察と消毒を行う必要があります（鏡などを使用することにより、一人でも確認できます）。

出口部の観察について

出口部の観察は以下の項目に注意して行います。

- ①皮膚状態（かゆみ・赤み・痛みなど）
- ②出口部からの出血・浸出液・排膿（ガーゼに付着していないか）
- ③カテーテルが明らかに抜けてきていないか
- ④カテーテルやクランプに損傷がないか

異常があれば、速やかに病院または医療スタッフへ連絡してください。

出口部の消毒について

出口部の消毒は毎日行います。透析日は病院の透析室にて医療スタッフが行いますが、透析日以外はご自宅で消毒を行う必要があります。

日に1度、出口部の観察と消毒を行いますが、汗をかいた場合や出口部の保護ガーゼが取れてしまった場合などでは、その都度、出口部の消毒を行います。

出口部の消毒にはクロルヘキシジンエタノールを含んだ消毒綿を使用しますが、消毒液の成分が肌に合わない場合があります。その際には医師にご相談の上、指定された消毒綿を使用してください。

消毒に必要な物品と消毒方法

出口部の消毒に必要な物品

- ① 消毒綿
- ② 滅菌ガーゼ
- ③ テープ
- ④ 手袋 (出口部に直接触れなければ素手でも問題ありません。
不安であれば使用してください)



汗をかいた場合や水などで濡れてしまった場合には、拭き取りのための清潔なタオルの準備とカテーテルを保護しているガーゼの交換が必要となります。

消毒方法

- ① 流水と石鹼にてしっかりと手を洗います。
- ② 出口部を保護しているガーゼを取り除きます (汗をかいている場合や水に濡れている場合は清潔なタオルにて清拭してください)。
- ③ 消毒綿にて出口部を清拭します (表面だけでなく裏面もしっかりと清拭しましょう)。



- ④ 滅菌ガーゼにて出口部を覆いテープで固定します。

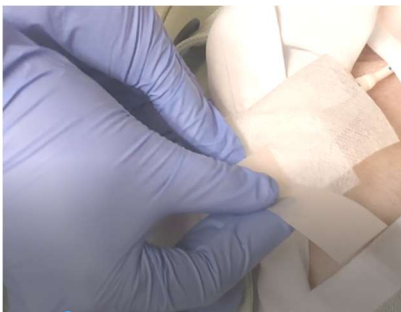


カテーテル保護ガーゼの交換方法

①清潔なガーゼにてカテーテルを袋状に包みます。



②テープにてガーゼを止めます(テープをきつく巻き付けると取り外し難くなりますので注意してください)。



少しゆとりを持たせると、取り外しやすくなります。

③ガーゼをテープにて体表面に固定します。



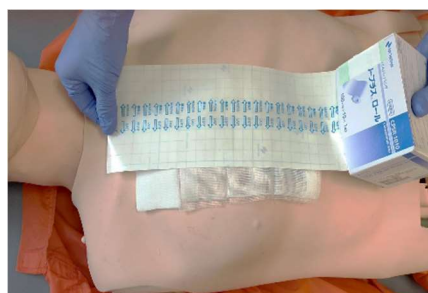
入浴時の防水処理について

出口部の防水処理に必要な物品

- ① ドレッシング材(カテリーブなど)
- ② 清潔なガーゼ(カテーテルの保護に必要なに応じて使用)

防水処理の方法

- ① ドレッシング材を2～3枚、
カテーテル全体を覆る長さで
切り取ります。



- ② 切り取ったドレッシング材を、
カテーテルに直接触れない様に
貼り付けます(カテーテルが露出
している場合はガーゼにて覆っ
てください。カテーテルを保護して
いるガーゼを取り外し、広げて使用しても問題ありません)。



- ③ 入浴後はドレッシング材をゆっくり
と取り外し、出口部の消毒とカテー
テルの保護を行ってください。
(カテーテル周辺が汗や水などで濡れ
ている場合は清潔なタオルで拭き取ってください)。



カテーテルのトラブルについて

カテーテル感染

- ▶ 細菌がカテーテルから進入し感染が起きると、発熱や出口部の発赤・排膿・疼痛などの症状がでます。感染を悪化させないためには早期発見が重要です。消毒時の観察をしっかりと行い、異常を認めた際には病院へ連絡してください。

カテーテルの閉塞

- ▶ カテーテルの中で血液が固まらない様に透析の終わりに抗凝固剤（血液が固まらないようにする薬）を入れていますが、それでもカテーテルの中に血液の塊ができる場合があります。透析の際に医療スタッフが血液の塊を取り除きますが、うまく取り除けない場合はカテーテルの中をキレイにする手術を行う場合があります。

カテーテルの破損

- ▶ カテーテルが傷ついたり破損したりすることで出血などの危険が生じます。もし、破損し出血した場合には破損部より上にクランプを移動し閉じてください。クランプも使用できない場合はカテーテルを破損部より上で折り曲げ輪ゴムなどで縛り速やかに病院へ連絡してください。



有事の対応について

ガーゼが用意できない場合

- ▶ 災害や有事の際でも、必要な物品があればいつもの管理方法を続けてください。
- ▶ カテーテルを保護するガーゼがない場合には、清潔なハンカチや巾着でカテーテル本体を覆ってください。
- ▶ 出口部については、救急絆創膏や入手可能なドレッシング剤を使用してください。



〒271-0067

千葉県松戸市樋野口 865-2

東葛クリニック病院

TEL 047-364-5121

FAX 047-367-0508

ホームページ

//www.tokatsu-clinic.or.jp/